

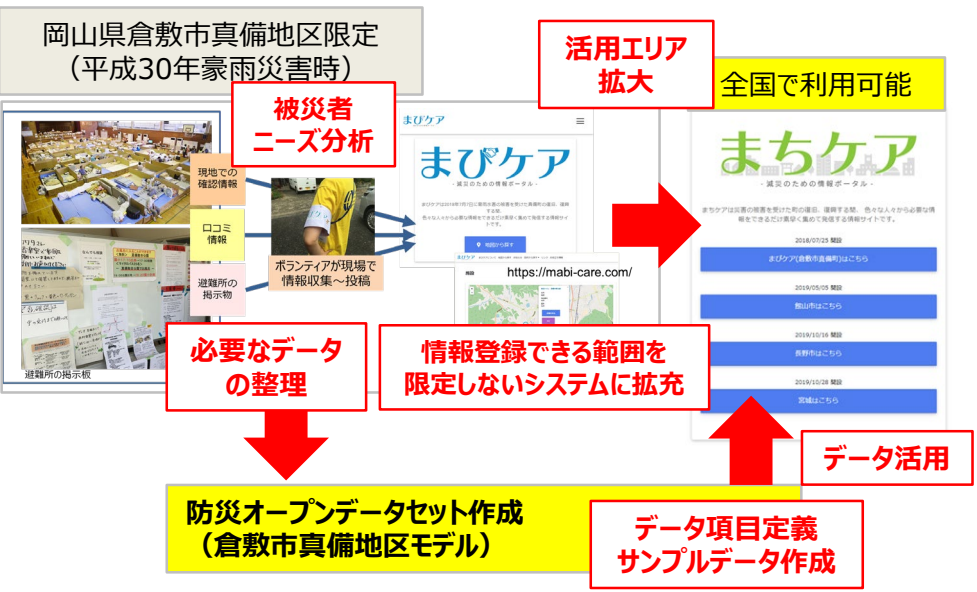
実施主体：一般社団法人データクレイドル×一般社団法人EpiNurse×特定非営利活動法人岡山NPOセンター  
実施地域：岡山県倉敷市

## 被災後の情報伝達の混乱→ 平時のオープンデータの備えで地域防災力向上を支援

### 取組の概要

★**防災オープンデータセット（倉敷市真備地区モデル）作成**  
倉敷市真備地区の浸水被害を事例として防災（水害）に役立つオープンデータを調査・整理して必要なデータセットを定義し、様式のそろったオープンデータの広域整備を支援

★**被災者支援情報ポータル「まちケア」展開**  
岡山県倉敷市真備地区において提供した被災者支援情報ポータルサイト「まびケア」を情報登録できる範囲（市町村など）を限定しないシステムに機能拡充し、広域展開（全国どこでも利用可能に）



### 取組の背景

平成30年7月豪雨被災時に岡山県倉敷市真備地区において提供し被災者・支援者に利用いただいた「まびケア」の有効活用に向けた課題

- ✓避難所に貼ってあるポスターや役立つ口コミ情報を集めてデータ化したため作業負荷が大きく、データの表記ゆれ、ばらつき、重複等の課題があった。  
→【解決策】平常時からオープンデータの整備と活用  
★**防災オープンデータの項目定義書とサンプルデータ作成（新規）**
- ✓指定避難所以外や地区外に避難した方に情報が届きにくかった。  
→【解決策】広域で情報提供できる仕組みづくり  
★**情報登録できる範囲を限定しないシステムに機能拡充（新規）**

### 取組の成果

- ★「まびケア」を**真備地区復旧復興活動に活用**
- ★「まちケア」を**令和元年台風15号、台風19号被災地や教育用に提供**  
千葉県館山市：充電スポットやWi-Fiスポット  
長野県長野市：利用可能な医療機関やホームセンター等  
宮城県丸森町：風呂、トイレ、災害ゴミ収集場所等  
高知県立大学：教育用（平時利用）  
→まちケア提供地域数 5件（被災地4地域、教育用1地域）  
→まちケア投稿情報数 1,866件（被災地1065件、教育用801件）
- ★**防災オープンデータセット（倉敷市真備地区モデル）を展開**  
✓自治体オープンデータ研修で**中四国エリアに事例紹介**  
✓中国地域オープンデータ利活用ラウンドテーブルでデータ定義とユースケース（中国地域防災オープンデータマップ）を**中国5県に展開**